

新市立病院整備市長タウンミーティングにおける意見概要

会場：船場生涯学習センター 5階 多目的室2

令和4年12月24日 午後2時開催

No.	ご意見・質問内容	回答内容
1	再編統合、指定管理者制度の採用を決めたのは国からの交付税を多く受けることが目当てのように感じられる。	再編統合については、新市立病院整備審議会にて三師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、病院経営者、市民、大学教授の委員により7回にわたる議論を経て出された答申に基づき、市として決定しました。審議会においては、国の財政支援があるからということではなく、あるべき新病院の姿、医療機能について真摯にご議論いただいたものと考えます。
2	現市立病院の何百人という医療従事者がなぜ免職になり、指定管理の法人へ転職しないといけないのか。病床数を増床して高度な機械を設置すれば良くなるように見えるが、それを動かすのはひとである。箕面市の職員で運営すれば良いのではないのか。豊中市や池田市では直営で病院を運営しているのに箕面市ではなぜ指定管理になるのか。	箕面市の単独（直営）整備だと267床しか整備できず、将来の医療需要に対応することができません。再編統合により病床と診療科を充実させることで医師の派遣も受けることができ、持続可能で質の高い医療の提供が実現すると考えます。
3	非常に素晴らしい提案であると思うが、高齢者に対しては受診料は高くなるのではないのか。今までの受診料より高くなるのが心配である。低所得者にとっては高くなるにつらい。	診療報酬は、民間であっても公立であっても変わらない公定価格です。新病院は全室個室で整備する予定ですが、その場合でも7割は無料の個室となります。見方を変えれば、現市立病院で4人部屋に入っていたかたは、新病院では無料で個室に入れることとなります。有料、無料は提供するアメニティにて分類します。
4	診療科の充実、特に放射線治療科が整備されることは大変ありがたい。分娩の対応については見直すとのことだが、国としても出産育児一時金の引き上げ等の方針も打ち出されている。先日メディアでもICT利用により遠隔での治療を導入している場面も目にした。箕面市で出産できる環境は必要だと思うので分娩は継続するよう検討してほしい。	市立病院の分娩件数は過去多いときで年間約1,200件ありましたが、令和3年度には年間約80件まで減少しています。市立病院の減少分は市内や近隣市の民間病院が担っているのが現状です。箕面市立病院の場合、大阪大学医学部から医師の派遣を受けていますが、大阪大学医学部としては、今後拠点を絞って派遣先を集約していく方針と聞いています。そのような状況で、市として分娩の取扱いを必須とはできないと考えていますが、指定管理者から医師を確保できるという前提で分娩を継続する提案があれば実施していきます。
5	市の職員は方針に基づいてしか話さず、意見を述べてもことごとく否定される、検討すらしないと感じているので、市長に直接意見できるこういった機会はないか。現病院跡地に学校を整備する話は何年も要して小学校整備と一度決まっていたが、上島市長が就任してから再度検討されている。市民の声が届いていることはありがたい。	（ご意見のみのため回答なし）
6	新病院の建替えについては、老朽化は理由にならないのではないのか。排水管劣化状況の写真があったが、写真を撮れるということは管理できているからであり、老朽化が著しいとは思えない。高度医療機器が設置できないとのことだが、現市立病院敷地にはまだ余裕がある。また、環境が良く駐車場もあるので現地建替えも可能だと思う。現地建替えで回復期50床も確保できるなら現地建替えで整備すれば良いのではないか。	平成29年12月の市議会では、老朽化への対応が喫緊の課題であるとして議論が進められました。大規模改修による長寿命化か、現地もしくは移転での建替えかを検討した「箕面市立病院リニューアル調査検討報告書」において、現地建替えと移転建替えが両論併記となったことから、市議会で検討をいただいた結果、移転建替えすることが議決されました。 老朽化については常に改修して維持管理に努めていますが、地中や確認・更新できない部分でも劣化が進んでいます。高度医療機器については別棟を建てて設置したとしても、患者や職員の動線に問題が発生し使い勝手は悪くなります。
7	指定管理については様々な問題点が潜んでいると思われる。審議会を傍聴したが、指定管理への移行については保健所長等も災害時での対応等も指摘していた。	新病院では高層化することにより縦の動線がわかりやすい、コンパクトな設計とする予定ですが、災害対応の拠点にもなることから、当然、免震構造を採用します。 高層の病院でも免震構造等により災害時でも問題なく運営している事例も多々確認しています。
8	全国の公立病院で補助金をもらっていない病院はないと思う。箕面市でも以前は繰入れされていたが、独立採算になり赤字がふくらんだ。指定管理にあたっては借入金を一括して払うことになっている。議会では今後、政策的医療に対しては3.3億円は繰り入れされることになっていたが、現地建替えを検討しても良いと思う。新病院の敷地は断層帯にもかかっており、免震構造の採用の説明もあったが、高層化には疑問がある。	箕面市立病院は地方公営企業法の適用を受けており、独立採算での運営が原則となります。また、経営強化プランの策定も義務づけられています。 移転建替えの検討経過は項番6のとおりで、平成29年の市議会での決定事項を戻すことはありません。 高層化の課題については、前項のとおりです。

No.	ご意見・質問内容	回答内容
9	以前、ダビンチを設置しようとしたところ柱スパンが短く、通常の仕様では設置できなかったと聞いた。最新の機器設置には現病院より大きなスパンが必要ということで建替えについては理解できた。分娩の見直し及び場合によっては民間へ委託することも納得できた。子育てしやすさに関して、小児医療についてはどこまでバックアップできるのか、さらなる拡充をお願いしたい。マンション建設も進む中で子どもも増加すると思われ、病院の小児医療は学校運営にも影響すると思われる。	小児医療については、豊能広域こども救急センターとも連携しながら、政策的医療として小児救急を含め充実させていきます。
10	駅周辺の整備に関して、エレベーター、エスカレーター、病院へのアプローチ、バリアフリー等は新駅の開設に合わせるのか、病院の開院に合わせるのか。	箕面船場阪大前駅から病院へ向かう、エレベーター、エスカレーターを含む駅北側出入口、病院へのアプローチ等については、新病院の開院までに整備をする予定です。 なお、駅南側出入口におけるエレベーター、エスカレーターは新駅開業に合わせて整備する予定です。
11	現病院職員への処遇はどうなるのか。箕面市の職員として指定管理病院へ移るのか。機械、建物は新しくなっても宝は職員だと思う。そこを引き裂くというのは重要な問題である。私の経験からも、事業者が変わると職員が辞めて経営が不安定になり、サービスに影響すると言える。	現市立病院の職員は、指定管理者制度移行前日に分限免職となります。現市立病院職員で指定管理者法人への就職を希望する者を全員雇用することを条件に、指定管理者法人を公募する予定です。転職に伴う給与差を一定期間市が補填することも併せて検討しています。